

NEXT INFO ③

第一次出展申込締切迫る !!

特典あり !! 1月31日(金)まで

いまあらためて考えたい展示会開催の意義

年に一度の「出逢い」の場に

2019年11月27日に行なった「フォトネクスト2020開催概要説明会」で、株式会社ピーディーエーギャロップ代表取締役・山下 亮氏との特別セッションを実施しました。「出展社&来場者の『NEXT10』と題したセッション」のなかで、山下氏はフォトネクストと関わり、そこで感じたこと、さらには出展を検討する各社へ熱きメッセージを送りました。

カメラ・レンズのプロ向け修理・メンテナンスやチューニングサービスを手がけるピーディーエーギャロップ。フォトグラファーを中心にフォトネクストの来場者でも大勢の方々が同社と関わっています。フォトネクストの会期中に行われている「フォトネクストで逢いましょう」は、いまや名物イベントとなり、年々参加者が増加し、交流を深める機会となっています。

一方で前回は初のブース出展を果たし、カメラメンテナンスの出張窓口としてフル稼働。キヤノン製品を専門にカメラをチューニングするという新しい概念を浸透させました。

めざましい活動を見せる同社ですが、山下氏が初めてフォトネクストに参加した約7年前は、「フォトネクストというイベントを活用することができませんでした」とのこと。当時はスーツを着て会場に来たものの、「Facebookで友達

としてつながっていても、そのときの私は大したインパクトもなく、名刺を配ってもそれなりのリアクションしか得られませんでした」と苦い思いをされたようです。

そこで次回に向けて作戦を練った山下氏。開催前からフォトネクストに向けての投稿を始め、半ズボンという格好で会場へ。2年目の作戦は「かなり前から前振りをし、会場でしか配らないステッカーを作り、会場でお会いした方に差し上げる」というものでした。「要は、私を見つけて『逢う』こと自体がイベントになるようなネタ振りをして臨んだのです」。

その結果、多くの人たちに声をもらえたようです。その翌年からは、会期初日の夜に飲み会を開きました。40人定員のお店に90人近くが詰めかけるという大盛況ぶりです。その飲み会は「フォトネクストで逢いましょう」と名付けられ、以後恒例のイベントとなり、150人規模のフォトグラファーや業界関係者が集う場となりました。

「人間力」こそが差別化に

フォトネクスト主催者として思うのは「従来型の展示会の役割は終えている」ということ。ただ、展示されているものを見るだけの時代ではありません。たとえばカメラやフォトブックといった商品の情報は、ネットでも十分に収集できます。リアルに触れられる機会



開催概要説明会で行われた特別セッション。右と下は2019のピーディーエーギャロップブース。



とも位置付けられますが、各社の販売網や営業努力によるところも大きく、「わざわざ展示会に行かなくても実機に触ることはできる」と考える人もいます。

しかしフォトネクストは、この「リアル」という部分にこだわります。リアルに触れて「体感」できることに加え、多くの出展社と来場者の「交流の場」にしたいと考えます。そこに展示会イベントとしての価値を高めていけるよう、そのきっかけとなる企画プログラムを大々的に打ち出していきます。

「私にとってのフォトネクストは『逢う』という場です」と山下

氏。さまざまな技術が日進月歩で、あっと言う前に平均化され、そして陳腐化するなかで、「今後、ますます『人間力』によって差別化されていく時代となっていくのではないのでしょうか」と分析します。

それは「ビジョン」にしる「ストーリー」にしる、人間にしか語り得ない力があります。「だからこそ、自身の『人間力』をフル動員して、『逢う』というリアルでしかできないことに全力でぶつかり、人の心を動かす必要があると思います」。それが山下氏にとっての、フォトネクストの価値であり、再評価だということです。

来場者は見た・感じた①

フォトネクストの前身、「スタジオ写真フェア」として開催していた頃から、毎年会場にいたっている、撮影ビジネス関連のコンサルティング関係者は、前回のフォトネクストの印象について、「ベビー向け撮影サービスを強化している方が増えてきているように感じます」と語ってくれました。

一方で「クライアントのなかには、マタニティにまで意識がいていない人も多く、スマッシュケーキ（1歳の誕生日にケーキを食べさせるアメリカ発祥の祝い方）の撮影まで含めてフォローできていないケースも見受けられます」とも指摘します。

ベビー関連の撮影需要の掘り起こしに向け、熱心にセミナーやプライベートレッスンを受けている人もいます。そうしたことから「これだけ多くのフォトスタジオや、昨今では出張撮影を中

心に活動するフォトグラファーも増えてきていることから、集客策の次なる一手となるような、差別化戦略につながるブースや企画プログラムが一層求められているのではないのでしょうか」と分析しています。

前回のフォトネクストは開催10周年を記念して来場者アンケートを実施しましたが、そのなかには「ニューボーンフォト関連の提案をもっと見たかった」というご意見もありました。全体的には少数でしたが、ニューボーンフォト撮影用のアイテムなどをラインアップしていたブースは、女性層を中心に賑わいを見せ、関連セミナーも大盛況でした。こうした傾向は、今回も顕著に表れると予想されます。

「数ある技術と情報を組み合わせることで、サービスの充実化を図ることができ、それが最終的に



は競合他社との差別化にもつながると思います」。たとえば、ベビーを中心とした撮影から、フォトブックをはじめとする出力商品までトータルで提案したい場合、自社のラインアップだけではカバーしきれなければ、関連商材やサービスを展開する企業と共同出展することで、トータルで

のソリューション強化を図ることもできるでしょう。ボリュームたっぷり、見応え満載のブースは、何よりも来場者の注目を集めます。何を提案しているのかわかりにくいブースとならないよう、展示からセミナーをはじめとする企画プログラムまで、総合力の高い構成で臨みましょう！

2020 出展に向けての意気込みを伺いました

より大きくなったブースで 商品提案からセミナーまで拡充

(株) アスカネット

フォトネクスト 2020 では、前回人気がありました「等身大フォト」のコーナーや、新しくブース内で講師をお招きしてのセミナーを開催、商談ができるスペースを設け、拡大をして出展をいたします。商品のご紹介はもちろん、撮影後から納品までのワークフローのご提案など、「ASUKABOOK のブースに行けば良い情報を得られる」ようなブース作りを考えています。

今年の ASUKABOOK もご期待ください。お待ちしております。



毎年、大きなブースで最新の商品を中心に提案。本年はさらに大きなブースで、バラエティに富んだ内容で構成されそうだ（写真は2019の同社ブース）。

スタジオ様と共に開発した 着物など新作を中心にアピール

オリジナル着物製作ラボ 日本文化伝承 (株)

全国からアンテナの高いフォトグラファー様が集まるフォトネクストにて、衣装にお困りの写真館様とつながりたく初出展を決意いたしました。今まで、各地方での衣装展でご縁をいただきましたスタジオ様やフォトグラファー様と共に開発してきました親子リンクコーデ着物やアンティーク着物の復刻、また8Lサイズまで対応可能なワイド訪問着等の新作を発表させていただきます。集客につながるお着物でお役に立てよう頑張りますので、どうぞよろしく願いいたします。



左：ありそうでなかった水彩画タッチの着物は洋風セットにも相性○。
右：サイズが難しいアンティーク着物は現代寸法で復刻。サイズも安心。

来場者は見た・感じた②

本通信誌や2019開催レポートでも触れた通り、フォトネクストでは男性のみならず女性の来場者も増えてきました。消費者とフォトグラファーを結びつける出張撮影マッチングサービスの台頭が主な要因に挙げられますが、フォトネクストに来場する女性層は、こういった部分に関心を持っているのでしょうか。

2019の来場者アンケートで、フォトスタジオを立ち上げた女性フォトグラファーのセミナーを受講した女性より「自分もいつかスタジオを設けたいと

考えていたので、講師の方の生き様、考え方、スタジオ立ち上げに至るまでの過程、今後の方針など、大変参考になりました」との記載がありました。

先日、マルチに活動する女性フォトグラファーとお会いする機会がありましたが、そのときに感



じたのは「自身は何のために撮影をしているのか」、その根本をどれだけ踏まえたうえで取り組むことが、仕事の幅を広げるだけでなく、意義ある活動へと結びつけられるか、ということでした。写真を撮る目的は、人それぞれに違いはあるでしょう。では、その目的達成に向けて、どういう行動に移



しているのでしょうか。

プロ・アマ問わず多くの人の写真を見たり、旅に出てさまざまな文化に触れたり、写真を通じて社会貢献につながる活動に参加するなど、あらゆる経験が糧となり、次なるステップアップにもつながります。

お会いした女性フォトグラ

ファーは「フォトネクストには、さまざまなブースや企画セミナーがあり、そこで受けた刺激が自身の撮影活動に向き合うきっかけにもなります」と語ってくれました。数多くの出会い、情報との触れ合いが「NEXT」に向かう原動力となります。そのきっかけを、主催者とともに創出していきましょう！

小間数拡大から新規出展まで気合い十分!!

自社のノウハウを生かしながら 写真による新ライフスタイル創出

有功社シトー貿易（株）

当社は、主に印刷・紙器・段ボールの製造現場をお客様とした専門商社として、「美しい箱作りのお手伝い」と現場に「明日はもっと楽しい」をお届けしてきました。そして初出展となるフォトネクストでは、これまでに培ってきたノウハウを生かして「写真のある素敵な暮らし」や「写真のある楽しい街」といったライフスタイルの提案をさせていただきたいと考えております。「クリックフレーム」をはじめ、さまざまな商材を出品いたしますので、ぜひともご注目ください。



穴を開けてカットした印刷紙にカチッとはめるだけで、あっという間にオシャレなキャンバスプリントが完成する「クリックフレーム」。

■ 小間数拡大から新規の出展まで、続々とお申し込みをいただいております。お申し込みをいただきました各社様には、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

■ 前回、新規出展を果たし、今回も出展を決定していただいている企業もあります。毎回、新規のお申し込みは数10社あり、ある程度入れ替わりもありますが、前は過去最大の26社に上りました。

■ 今回の開催コンセプトは「フォトレボリューション時代へ～NEXT10への挑戦～」このテーマに基づき、主催者企画との連動も視野に出展をご検討いただいております。

■ 前号でもご案内の通り、今回はいままで以上に主催者企画内容の拡充を図り、撮影からプリンティングまで、さまざまなジャンルのプログラムを用意し、ブースの動員につながるような導線を計画しています。3月17日に開催いたします出展社説明会・小間割抽選会では、テーマ別に区画された企画ゾーンを踏まえた上で、ブース位置をお決めいただけるよう、展示会場をレイアウトいたします。

■ 4月中には開催案内パンフレットやポスターが出来上がります。出展社にはご希望の部数をお送りいたしますので、お取引先などにお配りください。

■ そのほかにも、ブース動員につながる策として「SNSの活用」が挙げられます。写真や動画を見せて期待感を高め「現物は会場で!」などとアピールするのも効果的と言えるでしょう。

■ 次号にも出展各社様のコメントを掲載。また今後は公式ホームページにも出展内容をPRしていただくコーナーを設けます。出展社の皆様には有効にご活用いただきますよう、また来場者の方々にも注目していただけるように、プレスリリースの発行等を通じてご案内いたします。

NEXT INFO

次号予告

メイン企画プログラム公開



フォトネクスト公式ホームページでは、最新情報を随時更新。撮影ビジネス情報誌「スタジオNOW」との企画連動による記事コンテンツも立ち上げました。出展に向けて、相乗効果が得られますので、ぜひ活用ください。企画・掲載に関するご相談は、主催者事務局（株式会社プロメディア）まで。

まもなく
第一次申込締切です

1月31日（金）まで!!

出展申込書は公式ホームページから
ダウンロード可能です。

PHOTO NEXT 2020

フォトグラファーズ & フォトビジネスフェア

www.photonext.jp

主催：株式会社プロメディア
主催団体：写真感光材料工業会
日本フォトイメージング協会
一般社団法人日本写真映像用品工業会
特別協賛：日本営業写真機材協会

「NEXT10」に向けた注目ポイント

- ① センターステージ基調講演
- ② プロライティング体感ステージ
- ③ プリント関連企画&ギャラリー

《再》主要スケジュールをご確認ください

- ◎ 第一次申し込み締め切り：1月31日（金）
- ◎ 最終申し込み締め切り：2月28日（金）
- ◎ 出展社説明会 / 小間割抽選会：3月17日（火）
- ◎ 搬入日：6月8日（月）
- ◎ 会期：6月9日（火）～10日（水）

第一次の出展お申し込みをお奨めします!!

・より一層来場者が回遊しやすい展示会場にしていくことを目指し、ブースレイアウト検討および調整の日程を確保させていただくため、締切日を一次と最終の2回に分けています。

・一次までにお申し込みいただいた場合、同一小間数同士の抽選時、優先的に場所をお選びいただけます。小間割抽選会でご希望の場所をいち早くゲットしましょう!

出展料金（税別）

1 小間 (3×3m)	240,000 円
2 小間以上	230,000 円 (3×3m の1小間あたり)
独立小間 (6 小間以上)	240,000 円 (3×3m の1小間あたり)
ストックルーム	50,000 円 (間口 1m×奥行き 2m/ 入口鍵付き)

ご確認ください

主催 3 団体および日本営業写真機材協会の各会員は、会員割引が適用されますので、各会事務局に直接お問い合わせのうえ、専用申込書をお送りください。

NEXT INFO ③

● 本冊子は PHOTONEXT 関連トピックをまとめた通信誌です。

● 現在、新しい内容を含めて企画検討しています。ギャラリーでは、いままでにない写真商品の見せ方を予定。エンターテインメント性あふれる来場者参加型イベ

ントも!? 詳細は追ってご案内いたしますので、お楽しみに!

● PHOTONEXT に関するお問い合わせは主催事務局まで (TEL: 03-3549-1231、FAX: 03-3549-1232、メール: info@photonext.jp)。